

ゲン イニイ

ベトナム出身

麗澤大学 外国語学部外国語学科

日本の大学で得られたこと

今日食堂で友人と食事をしました。4年生になった友人らは1年生の時のようなわくわくした気分ではなくなり、落ち着きがあるようになりました。自分のやりたいことがはっきりわかっていて、より良い未来のために努力しているように感じました。今学期は大学での最後の学期です。日本での生活を振り返ってみると、来日して大学で勉強するという決断は、私の人生において正しい決断だったと思います。ベトナムにいたらできないような面白い経験をたくさんすることができました。日本の大学で4年間勉強した私は何を得たのだろうかと考えました。

一つ目は、知識への愛です。大学の授業では、新しく面白い知識をたくさん学ぶことができました。さらに、講義での教授の知識への愛情が、私に学習への意欲を与えてくれました。外国人である私にとって、すべてを理解するのは本当に難しい時もありました。例えば、源氏物語を勉強する際、教授の情熱的な教えや歴史的背景、文化的背景を学ぶことによって、日本の古典文学の美しさを感じるようになりました。大学で教授や友人もたくさん応援してくれるので、新しい知識を学ぶことはとても面白いものだと感じられ、心の中の知識への愛がどんどん大きくなるようになりました。

二つ目は、一生懸命やれば、それなりの結果が出るということを学びました。大学に入ったばかりのとき、講義を理解することと日本語でエッセイを書くことはとても大変なことでした。対策として、講義を録音し、家で何回も繰り返し聞きました。また、エッセイを書き上げるのに、一日かかったこともありましたが、4年後にはもっと簡

単にできるようになりました。毎日努力したら、自分が追い求めるものが成功するのだと勉強になりました。私は授業でいつも良い結果が出せるように努力し、成績がどんどん改善していきました。難しい問題に直面したとき、人一倍努力すれば、改善できると考えるようになりました。

最後に、多文化な環境でのコミュニケーション能力を学びました。大学では、授業時間中やサークル活動などで、他の生徒と一緒に行動したり、グループで活動する機会が多くありました。そのおかげで、人それぞれ仕事のやり方は違うけれど、協力して結果を出すことができることを学びました。また、文化の違う人たちと一緒に仕事するのは、本当に楽しいことです。お互いの国や文化について、たくさんのことを共有することができました。友人から多くのことを学びました。さらに、目標達成のために、忍耐力、熱心さ、譲り合いなどという日本人の働き方についても学びました。これらの経験は、将来国際的な環境で働きたいと考えている私にとって、とても役立つものです。

大学時代を日本で過ごしたことは、とても幸せなことでした。それは私の貴重な経験です。多くのことを学び、多くの人に助けられ、素晴らしい友人を得ました。それ以外にも、日本には景色や人、チャンスなど、私を幸せにしてくれるものがたくさんあります。したがって、私にとって日本への留学は正しい決断だと思い、国際的な舞台で活躍することに役立つスキルを得ることができました。

以上



▲ 麗澤大学の食堂